

北川一栄氏を悼む

横山 保

本学会の前会長北川一栄氏は昨春来病氣加療中でしたが、去る11月17日大阪の住友病院で逝去されました。謹んで哀悼の意を表したいと思ひます。

北川前会長は昭和51・52年度の2カ年にわたり、本学会の会長として、多大の熱情をもって学会の強化・育成に努力されたことは、私どもの均しく記憶するところでありますが、会長の任を果されて未だ1カ年も経ずして他界されたことは、まことに残念で、哀絶の感ひとしおのものがあります。

北川前会長は、早くから広い視野と深い理解をもってORの育成・発展に寄与され、OR発展の途上に残された足跡はまことに偉大なものがあると思ひます。とりわけ、関西におきましては、北川前会長は、QC、IE、OR、SEの全般にわたって、最もすぐれた理解者であり、また指導者であり、学界および産業界を通じて、関西での中心的存在でありました。北川さん亡き今日、われわれ関西に在住するOR研究者は、柱石を失った思いがして、哀惜の情つきぬものがあります。

北川前会長は独創力豊かで、すぐれた理解力をもつ方でしたが、それとともに真摯な態度をもって物事に臨む方でした。学会関係のいろいろな会合に積極的に参加され、熱心に議論される姿は私どもの尊崇的でありました。OR学会の会長に就任されてから、お会いする機会があるごとに、OR学会の発展を心にかけて、熱く話しかけられてきたことは今なお記憶に新



しいことでもあります。

私どもOR学会としまして、学会のために情熱をもって尽力された故人の遺徳を偲び、心から御冥福を祈念したいと思います。

経 歴

生 年 明治37年7月26日
本 籍 西宮市相生町52
現住所 宝塚市仁川北2丁目8番3号
死 去 昭和53年11月17日

学 歴

大正13年3月 第三高等学校高等科理科甲類卒業
昭和2年3月 東京帝国大学工学部電気工学科卒業
昭和19年5月 東京帝国大学より工学博士の学位を受
く(油入紙絶縁蓄電器の設計及び製作
に関する基礎的研究)

職 歴

昭和2年4月 住友電気工業株式会社入社
昭和21年11月 同 社 取締役就任
昭和22年2月 同 社 常務取締役
昭和22年6月 同 社 専務取締役
昭和31年11月 同 社 社長
昭和41年11月 同 社 取締役会長
昭和47年11月 同 社 相談役

受 章

昭和31年3月 紫綬褒章受章
昭和38年11月 藍綬褒章受章
昭和49年11月 勲一等瑞宝章受章